私の強みは、現状に対して問題意識を持ち、課題解決に向けやり抜くことである。

1. 私は現在三年目になるカフェのアルバイト先で学生約15人のシフトリーダーとして店の問題点を主に二つ改善した。具体的には、学生のクローズ作業においてのミスの多さ、作業効率が悪いこと、また、店全体で客単価が低いことが店舗全体の問題であると考えた。そこで、一つ目の課題に対し、クローズの作業リストを作り、一人一人に配ることで、お互いが各自の仕事を確認できるという環境を作った。その結果、作業ミスがなくなったと同時に、作業効率の上昇により、退勤を三十分繰り上げることに成功し、人件費削減にも繋がった。また、当時、お店の基本的なドリンクのサイズがSサイズで定着しており、売り上げの内訳において単価の低いＳサイズが最も多いことに問題意識を持ち、店長に相談した。そこでお店の看板の表示デザインを見直し、基本サイズとしてMサイズを強調し、接客の方法も改めた。結果的に、店長の面談の中でMサイズの売り上げを平均で約1.5倍増やし、客単価も上昇させることに成功した。
2. また、私は留学経験から考えた課題に対し、未経験の状態からプログラミングを学び、ウェブサイトを作ることで、課題解決に近づくことができたという経験がある。きっかけはアメリカの留学先において、現地で「ファーマーズマーケット」と呼ばれる市場により地産地消の取り組みが大規模に行われていることを目の当たりにしたことだ。それをきっかけに、日本の地域においても、地産地消を促進するために、何か自分の力で働きかけることはできないかと考えた。そこで学生が運営するプログラミング団体に加入し、はじめは、未経験で苦戦するような状況は数多くあったが、自分の力で一からＷｅｂサイトを作ることによって、全国の消費者たちに地域それぞれの特産品や商品の魅力、市場の開催情報を届けることのできる活動を行った。結果的に、プログラミング団体で行われた大会において優秀賞を獲得すると共に、Ｗｅｂサイト上で消費者や、生産者側からの多くの反響を得ることができた。

以上のことから、現状に対して問題意識を持ち、課題解決に向けてやり遂げる力が強みである。

IT業界は常に新しく様々なことに取り組み、すべての最先端にある業界であると考える。そのような環境で常に現状に満足せず、自分自身を成長させるとともに、社会や、顧客の問題に対して貢献することができる点が魅力的だと考えIT業界を志望した。